

笑顔いっぱい 阿村っ子



上天草市立阿村小学校
学校だより
第18号
R3.11.18(木)
文責 坂本和子

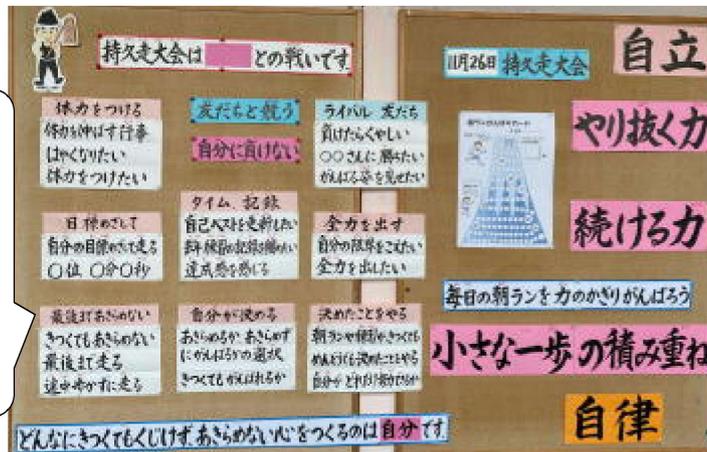
11月の全校集会「持久走大会は□□との戦いです」

11月26日(金)は、校内持久走大会が行われます。持久走大会は、子供たちが多くのことを学ぶ、とても大切な行事です。体育的には、持久力を養うこと。心の面では目標に向かって努力する心、きつくてもへこたれない、たくましい心を育てること。全員が望みどおりの結果を得られる訳ではありませんが、目標達成に向けた努力の過程で得るものは本当に大きいと思います。そのことを子供たち自身が分かった上で、持久走大会の練習に取り組み、心も体も鍛えてほしいと思っています。

そこで、毎年、持久走大会前には、子供たちに上記のように尋ねています。今年は、右のように答えてくれました。

子供たちの答えを大きく分けると、「友達」「自分」の2つでしたが、その理由は本当に多様でした。1年生は1年生なりに、高学年も毎年しっかり考えてくれています。それらを整理して知らせ、「友達と競う」「自分に負けない」としました。

一昨年、昨年は、子供たちの考えをもとに、私がまとめをしていました。金栗四三翁の言葉を知らせたこともあります。今年は、6年生の



右側には、自立(自分で決める)から自律(自分でできる)に至るまでを目に見えるように示しました。どんなことでも、できるようにするには「小さな一歩」を積み重ね、やり抜くことが大切なことを子供たちと確認しました。

どんなにきつくても、くじけず、あきらめない心をつくるのは自分です。6年 さん

今月のめあて：毎日の朝ランを力の限り頑張ろう

12月6、7日 熊本県学力調査(3～6年)
最後に、3～6年生には、おまけの知らせをしました。毎日、小さな一歩を積み重ねるのは、朝ランではありません。12月にあるテストにも目を向けていることが大事。自分の決めた目標に向かって見通しを持ち、やり抜く力を付けていきたいものです。

朝ランにも力が入っています。毎日体育主任の 先生が運動場のラインを引き直してくれます。ラジオ体操の後、一斉にスタートして、嵐「Happiness」が流れている間、全力で走っています。まさに「力の限り」です。一番速い先生の記録が外周で6週です。高学年は、目標にしてついて行っています。私は内周で4周半。半周は切り捨てて朝ランカードの○に色を塗れないので、5周を目指していますが、まだまだ。子供も大人も「力の限り」の心地よさを味わっています。

毎日朝ランを頑張っって、持久走大会でも頑張れるようにしたいです。(2年 さん)

持久走大会に向けて、朝ランを全力で頑張り、それだけでなく、算数や国語の勉強も、自学や宿題を頑張ります。(6年 さん)

裏面もあります

「粘り強くやり抜く子ども」「考え、行動する子ども」「思いに気付き、協働する子ども」

充実した学びの1日 生活科・社会科見学旅行

10月の集団宿泊教室(5年)、修学旅行(6年)に続き、11月も各学年の大きな校外学習(生活科・社会科見学旅行)を実施しています。人数が少なくなり、バスを使っての校外学習はお家の方に費用の負担をおかけしますが、子供たちが大変楽しみにしている、大きな学びが期待できる行事です。意欲をもって事前学習を行い、見学旅行で実際に見て確かめ、学びを深めます。また、校外に出ることで、様々なマナーも学ぶことができます。今、子供たちはまとめの学習を行っています。最後までしっかり丁寧に学習し、その成果をお家の方にも見ていただきたいと思います。見学旅行の様子はホームページにも載せていますのでご覧ください。



11/5(金) 1, 2年
さんばーる・シードーナツ



「さんばーる」では野菜・果樹コーナーや鮮魚コーナーで様々な物を見たり、疑問に思ったことを聞いたりしたそうです。「シードーナツ」のたくさんの海の生き物について「楽しかった!かわいかった!」と教えてくれました。ルールを守って行動できたそうです。自分たちの住む上天草のよさを学びました。頑張りましたね。

11/12(金) 4年 熊本城・県立美術館



社会科・国語で県内の伝統や文化、自然災害に備えることなどについて勉強してきた4年生。熊本地震の被害からの復旧工事を経て今春完了した天守閣をじっくり見学することができました。県立美術館別棟展示室では、細川家の調度品や能の面を鑑賞しました。あいさつや集合など、見学態度も大変立派でした。

11/19(金)には3年生がフードパル・北消防署に出かけます。



11/15(月) 4, 5年 認知症サポーター養成講座

上天草市社会福祉協議会からお出でいただき、「認知症サポーター養成講座」を実施しました。昨年は2回に分けて少人数での実施でしたが、上天草市リスクレベルが下がり、感染防止対策を行いながら体育館で一緒に行うことができました。

「相手の気持ちを考えること。」「自分の気持ちをどのように表現したり行動したりするとよいか。」という認知症の方への対応の仕方を学ぶことは、全ての人に対して言える、大切なことです。これからの生活に生かしてほしいと思います。

